

昭和の家事

制作者 昭和のくらし博物館
館長 小泉和子



「記録映画 昭和の家事」ってどんな映画？

第二次大戦後、日本人の生活様式は大きく変わり、家事も大きく変化しました。
いまでは、むかしの家事を見知っている人も少なくなっていました。

『昭和の家事』は、明治43年生まれの主婦、小泉スズさんが日常的におこなっていた家事を彼女がくらしした家で3年間にわたり丹念に撮影した記録映画です。
昭和時代の庶民の生活の記録としても大変貴重な映像です。

スズさんは、炊事、洗濯、裁縫、掃除、育児、看病、近所・親戚づきあいと、一家を支えていくうえで必要な家事をすべて自分の手でおこなってきました。それは現在の家事とは比較にならないほど量質ともレベルが高く、豊かで奥深い世界が広がっていました。
家事から解放された私たちは、楽さ、便利さと引き替えに多くのものを失ってしまいました。
いまこそ、かつてどこの家庭でも当たり前におこなわれていた家事を見直してみる必要があるのではないのでしょうか。



出演している
ヒトとモノ

小泉スズさん（明治43年生まれ）
小泉家の頼れるお母さん。
炊事、洗濯、裁縫なんでもござれ！



家事の道具たち

まだ家電製品が普及する前の家事には、
欠かせない道具とその使いかたを多数収録。

撮影した
トコロ

小泉家住宅（現：昭和のくらし博物館／東京都大田区）
昭和26年建築の公庫住宅。
撮影時（1990～1992年）は小泉スズさんがくらししていました。

記録映画 昭和の家事

DVDと解説本 のご案内



DVD

収録作品

13のテーマ（家事）について1990年から92年までの約3年をかけて撮影。これに「イントロ」と「それからのスズさん」という短いエンディングを加えました。全収録時間は約6時間！

イントロ（00' 60"）

①着物を解く（15' 30"）

②洗い張りをする（21' 56"）

③夏掛け布団をつくる（22' 19"）

④洗濯をする（28' 31"）

⑤浴衣を縫う（27' 23"）

⑥お盆を迎える（08' 35"）

⑦お手玉づくり（08' 08"）

⑧おはぎをつくる（35' 35"）

⑨半纏をつくる（56' 28"）

⑩おこわをふかす（19' 00"）

⑪漬物を漬ける（12' 41"）

⑫搔卷をつくる（48' 16"）

⑬お正月の支度（49' 36"）

それからのスズさん（08' 47"）

解説本

『昭和の家事 母たちのくらし 増補版』 定価1,980円（税込）
小泉 和子（著） 河出書房新社（2023/10/24）

記録映画「昭和の家事」（昭和のくらし博物館制作）の13テーマに、当時、撮影が叶わなかったテーマを加えた、手仕事による家事について、画像とイラストで詳細に解説

（購入・お問合せ先）

購入・お問合せは、下記QRコード、または、URLよりオンラインショップまでお願いいたします。



←昭和のくらし博物館
オンラインショップで
販売中です。各種決済可。
詳細、お問合せもこちら
まで！



★注意：本作品はドキュメンタリー映画「スズさん」とは内容が異なります。
4K映像ではありません。

★団体視聴用の上映条件：①無料上映であること ②30人程度までの特定少数人数であること ③サークル、グループ、団体、学校、図書館等で所蔵し、不特定多数へ貸し出さないこと。ただし、ご購入・所蔵は、団体・個人を問いません。

<https://showa-museum.stores.jp>